

3月11日に発生した東日本大震災に見舞われ、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、甚大な被害を受けられ被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。



名古屋市立西部医療センター

愛称：じょうほく

☆女性と子供にやさしい病院・がん医療を支える病院 ☆いよいよ**5月1日**に開院！

写真 ■ 立体駐車場 ■
収容台数 345台



写真 ■ 陽子線がん治療施設 ■

4月より、夜間の時間帯を利用して、陽子線照射装置(ガントリー)等の大型部品の輸送を開始しました。輸送後、クレーンで建物上部から搬入する作業は昼間に行います。

近隣住民の方々にはご迷惑をお掛け致しますが、よろしくお願いたします。



夜間輸送の状況

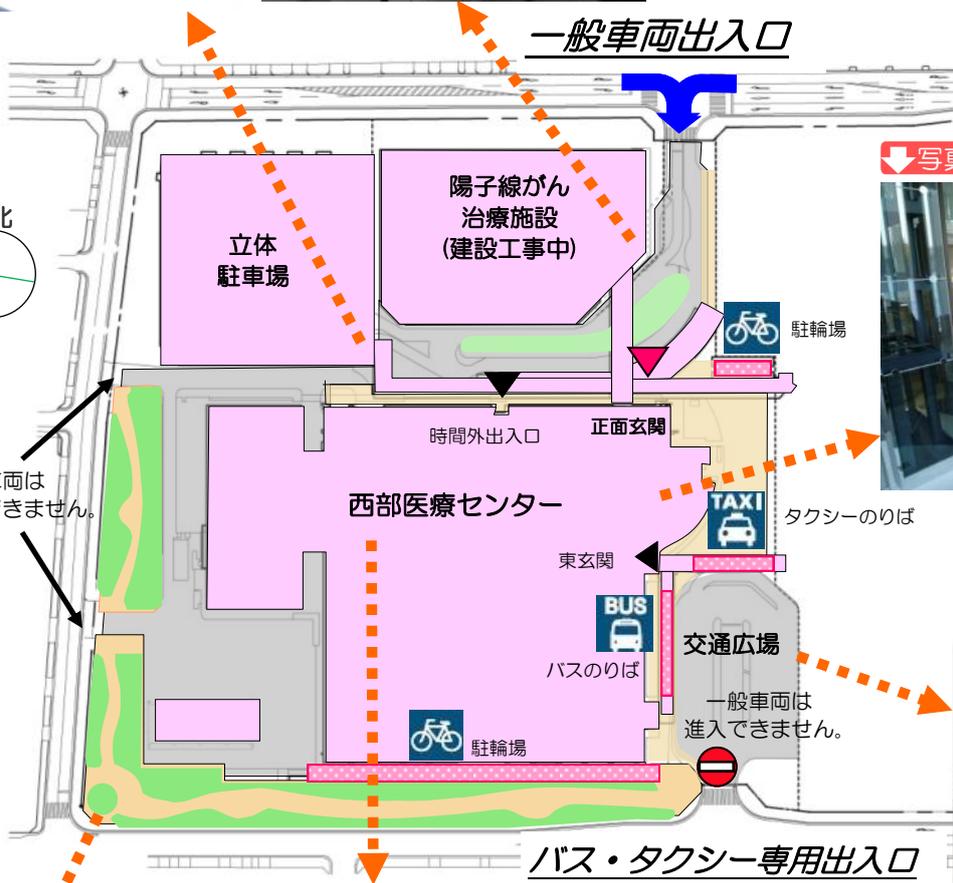
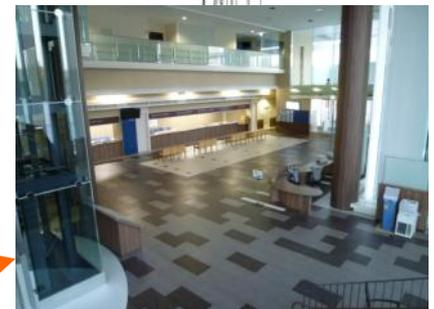


写真 ■ エントランスホール ■



一般車両は進入できません。

一般車両は進入できません。



写真 ■ 西部医療センターとひだまりの丘 ■



緑地帯



病院低層階のひだまりの丘は患者さんと来院者が憩える屋上庭園として緑化施設やベンチなどを配置しています。

写真 ■ 交通広場 ■

※交通広場へは、「幹栄1」「名駅15」「栄11」「北巡回」の市バス4系統が乗り入れを行います。

詳しくは、名古屋市交通局公式ウェブサイト(トップページ>お知らせ一覧>お知らせ>西部医療センターの開院に伴う市バスの乗り入れ等について)にてご確認ください。

クオリティライフ21城北 ワークショップ

「クオリティライフ21城北ワークショップ」では、クオリティライフ21城北で整備する交流広場などのデザインや機能、施設完成後の市民の関わり方などについて、市民の方で議論していきながら、その意見を整備に反映していきます。

西部医療センターの開院に合わせて、ワークショップで交通広場の入り口部分へ設けた花壇へ花を植える活動を行いました。

ワークショップでは、今後も地域とクオリティライフ21城北との関わり方について考えていきます。ワークショップにご興味のある方は、[健康福祉局クオリティライフ21城北推進室](#)（TEL:972-2605）までご連絡下さい。



クオリティライフ21城北内でボランティア活動を行っていく『QL21城北ボランティアの会』が、ワークショップの参加者により立ち上がりました。

まずは西部医療センターへ来院された方々へのご案内を行うボランティアからスタートしていきます。まだまだ小規模ではありますが、今後さらに活動の幅を広げていく予定です。

<陽子線がん治療施設の安全性について>

東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質漏えいが大きな社会問題となっておりますが、陽子線がん治療施設につきましては、原子力発電所と異なり、施設内に放射性物質を持っておりません。大きな電磁石を使って陽子線を作っていますので、電気が止まれば陽子線そのものが出なくなります。また、治療中に照射位置がずれた場合は装置が自動停止するため、震災時にも安全性が確保されております。

陽子線治療を行う照射室の壁はコンクリートの厚さが約2.4m～2.7mあり、阪神大震災や、東海・東南海地震で想定される揺れに対しても安全な設計になっています。



志賀公園整備情報

長期間、園内工事により地域の皆様にはご不便をお掛けしておりましたが、公園内の舗装工事が完了いたしました。ご協力ありがとうございました。



クオリティライフ21城北に関するお問い合わせ先

- クオリティライフ21城北・陽子線がん治療施設・ワークショップに関することは
健康福祉局健康部クオリティライフ21城北推進室 (052) 972-2605
- 陽子線がん治療施設の建設に関することは
陽子線がん治療施設建設工事事務所(鹿島建設(株)) (052) 981-8622
- 西部医療センターの運営に関することは
西部医療センター (052) 991-8121